

新年あけまして おめでとうございます。



五條市長
榎 信晴

市民の皆様には、平成19年の新春をおすこやかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、市行政に対し暖かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

ご案内のように、新生五條市が誕生し、新たな歴史創造への第一歩を踏み出し早1年数か月が経過しました。

この際は、一刻も早く新市建設計画を軌道に乗せるべく、厳しい財政状況の中で、改革と未来に夢の持てる街づくりをやり遂げなければならぬ思いでいっぱいであります。

さて、日本経済は緩やかながらも堅調な拡大が続いており、ようやく明るさが見えてきたようではありますが、まだまだ実生活には反映されていないように思われます。

また、国が進めております地方分権により、地方自治体は大きな試練を迎えております。

三位一体の改革に伴う厳しい財政環境等、依然として厳しい状況にかかれています。未来に希望の持てる地域再生は必要であり、より大切なことは、合併後の未来創造であります。

そんな中、京奈和自動車道五條道路・北部幹線道路の開通や吉野川環境整備事業・水辺の学校等豊かな自然と歴史が織りなす、なごみとロマンとふれあいの創造都市の建設に取り組み将来に夢と希望の持てる魅力ある街を育てて参りました。

さらには、5万人の森・南北連絡道・国道168号・国道24号等々の整備や、きめ細やかな社会福祉施策の推進など安全で心穏やかな市民生活を守りたいと考えております。

そのために、事務事業の総点検や見直しを行うとともに、徹底した合理化と計画的な歳出の削減を推進すべく「行政改革推進本部」を中心に、財政の健全化を図りながら、山積する諸課題の解決に、今年の干支のごとく猪突猛進で取り組んでまいり所存であります。

今後とも、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ご健康とご多幸を心から祈念申し上げましてごあいさついたします。